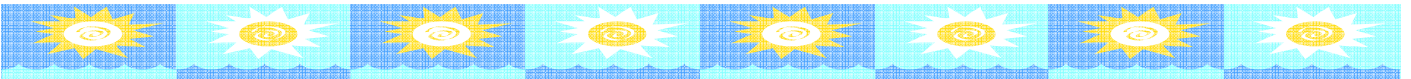


発行・編集 神奈川県立YMCA三浦ふれあいの村 指定管理者 (財)横浜YMCA 2011年7月26日発行  
 お問い合わせ先 〒238-0114 神奈川県三浦市初声町和田3136  
 TEL 046-888-2100 FAX 046-888-2152 E-mail miura\_fureai@yokohama-ymca.or.jp

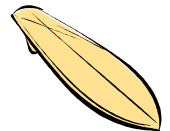


## 海の安全について

3月11日に発生した東日本大震災から早4ヶ月が経ちましたが、依然として、津波に対する不安感や海での活動に対する警戒感が高い状態が続いています。今回の震災をきっかけに、YMCA三浦ふれあいの村では、安全対策に対する見直しを進めています。現在は、ご利用される、学校や団体、家族等の皆様にお知らせしています。ご利用当日の手続きやオリエンテーションの中で、より細かく避難場所や避難経路を確認して、そのことが緊急災害時への対応への意識向上となっています。この他、過去に三浦半島を襲った大津波の情報に基づき、津波の際の避難場所および避難ルートにおいて、海拔約30mのやまびこ棟までの案内板の設置を計画しています。また、昨年までに引き続き、海の活動を安全に楽しんでいただくためにウォータースーフティーハンドブックをお渡ししています。今回の震災を教訓に、三浦ふれあいの村を利用される方々にとって、より安全、安心な施設になるよう様々な対策に取り組んでいきたいと思っております。(担当：神田橋)



## 事業報告 パート1 海遊キッズキャンプ



7月2日(土)～3日(日)1泊2日の期間でキャンプを行いました。小学1～3年生が集まり、参加者41名と指導者10名がシュノーケリングで様々な魚やウニなどを観察したり、ニッパーボードで波乗り挑戦しました!

泳ぐのが苦手な人もライフジャケットを着用して楽しむことができました。また、おやつ作りでは古代火起こし体験でグループで頑張ってお火を起し薪に火をつけました。(とても難しく苦労しました...)クラッカーとチョコレートと焼きマシュマロをサンドして、ほおぼると笑顔が出ました。海で疲れた身体に元気が戻りました。翌朝、展望台からの眺めを楽しみ朝食を済ませ、マリンプログラムを行いました。2度目の海は、マスクとシュノーケルの使い方もマスターし、長い時間楽しみました。「キラキラ魚が目の前を泳いだよ!」とか「カニを見つけたよ!」とか海の生物に興味を持ちました。岩陰を覗くと「タコ」を発見し吸盤がギュッとひっつき、ぬるぬるしていたと驚きの感想がでていました。昼食のお弁当を食べて、さよならの集いでは、「ともだちさんか」「ふなのりのゆめ」など歌を歌い、グループの振り返りを行って解散しました。このキャンプで海の素晴らしさや厳しさを子どもたちが学ぶ機会が持てたことを感謝します。

また、キャンプで会いましょう!(担当入倉)



# 事業報告 パート2

# アウトドアフェスティバル2011



横浜YMCAヘルシーキッズキャンペーン最終イベントとして6月5日(日)に「アウトドアフェスティバル」を無事に終了したことをご報告します。当日は463名の皆さまが夏を思わせるような青空の下に来村されました。多くの来場者の方にマリンプログラムをはじめ、サッカー・体操・ねじりパンづくり・磯の観察ツアー・ノルディックウォーク・CPR(ダミー人形を使った心臓マッサージ)等、さまざまな体験をしていただくことができました!(担当入倉)



## 青春キャンプ

5月28日(土)~29日(日)、14名の皆さまにご参加いただき「青春キャンプ」を実施しました。今回のキャンプは成人の方を対象に、童心に帰ってキャンプをお楽しみいただきながら、お互いの交流を深め、キャンプを通してリフレッシュしていただきたいとの願いを込めて、「青春キャンプ」とネーミングしました。残念ながらお天気には恵まれませんでしたが、黒崎の鼻へのシーカヤックミニツアーリング、ストレッチローラーを用いたご家庭でも気軽にリフレッシュできるフィットネス、お好み焼きと豚汁を作ったアウトドアクッキング等を笑顔で楽しんでいただきました。「初めての参加だったが、皆さんで話し、助け合いながらのキャンプは楽しかった。」との感想もいただきました。様々な場面で、明るい笑顔と会話が溢れ、キャンプの楽しさを味わっていただけたと同時に、ご参加いただいた皆さま同士の交流も深めていただくことができましたようです。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました。(担当青木)



## 先生エコキャンプ

5月7日(土)~8日(日)1泊2日 先生エコキャンプをおこないました。昨年より10人増の28名の参加をいただきました。昨年度からご家族での参加を可能とし、子どもたちが楽しんでいる姿をみながら学ぶという新しいスタイルの試みで実施しましたが、参加された方の評価も高く、次のような声をいただきました。「授業に生かせる情報が沢山あり、とても役立ちました」(20代男性)「素晴らしい企画だと思います。家族連れOKというのがまた良いと思います。次回も参加したいです」(30代男性)「海の生き物についてとても詳しく知ることが出来ました。海の環境保全に興味を持ちました」(30代男性)「先生&家族という企画が良かったです。子どもがいるとどんな動きをするかという事が分かり易いからです。」(40代女性)この事業の監修をいただきました横浜市立舞岡中学校教諭宮崎先生と磯の講師、山田さん(『リゾーキョコ森へ行くよ!NHK教育TV』出演中)のご協力に深く感謝いたします。(担当工藤)



## スタッフからの手紙



こんにちは!!6月から新たに三浦ふれあいの村のスタッフになりました小林です。梅雨も明け、これからまた暑い夏がやってきますね。今年は震災の影響で電力不足が懸念され、節電・クールビズが盛んに行われています。このふれあいの村でも、冷房を着ける時は28℃にしたりスタッフユニホームをアロハシャツにかえたりと節電に心掛けています。村をご利用される方もどうぞ、節電・節水にご協力ください。また、ふれあいの村では夏ならではのプログラムを色々準備しています。ファミリープログラムではシュノーケリングやシーカヤック、朝採り野菜プログラムなどをご用意していますので、事前申込みの上振ってご参加下さい。夏の訪れを感じさせるように、ふれあいの村では夏の生き物たちも顔を出し始めました。村内ではノコギリクワガタが樹液を吸いに来たり、私は今年既に5匹以上も捕まえました。皆さんもふれあいの村で探してみたいかですか?皆さまのご利用をスタッフ一同、お待ちしております。

## マリンクラブ活動報告



7月23日(土)第4回マリンクラブをおこないました。参加者は三浦・横須賀のメンバー25名、リーダー8名。台風6号の影響で北風が強く、また気温が低かったため、当初予定していたシュノーケリングを中止し、磯の探検をおこないました。各グループに観察用プラケースをバディーで一つ

配り、見つけた生物をそれに入れて観察しました。潮回りは余りよくありませんでしたが、子どもたちはタイドプールなどをじっくり探し、カニやヤドカリ、あごハゼなどをケース一杯捕まえていました。シーカヤックやヨットなど海上での活動が多かったため、磯場の生き物についてとても興味をもったようです。風も心地よく、1日が早く過ぎていきました。また、磯場からやまびこ棟まで班毎に異なる経路で避難訓練をおこない、避難経路や所要時間を確認しました。(担当工藤)

## 夏号担当スタッフ紹介



夏号を担当しました久保田です。主催事業では「三つ星野菜クラブ」を担当しています。手作りの夏野菜を参加者の方と楽しんでいます。畑作業も暑さとの戦いですが、生き生きとしたとれたて野菜に癒されることがあります。そして、澄んだ青空の下、海の輝きも魅力があります。ぜひ、ご家族、グループでお越しください。スタッフ一同お待ちしております。



## 5、6月利用者数

5月

学校	34団体	5,250人
団体	47団体	2,435人
家族	36家族	316人
合計	117団体	8,001人

6月

学校	67団体	12,419人
団体	40団体	1,547人
家族	12家族	156人
合計	119団体	14,122人